

修了生の声

学びと経験が自信につながった（私立保育所就職）



私にとって、敬愛短期大学で過ごした2年間は、かけがえのないものでした。入学前は、年齢差のある若い学生との学校生活に不安を抱いていましたが、入学後、徐々にみんなと仲良くなることができました。体育やグループワークといった学習も楽しく学ぶことができ、素晴らしい経験となりました。

先生方もとても優しい方ばかりで、授業も楽しく、保育についての学びを深めることができました。時には、自分の子育てを振り返りながら、新たな知識を習得することは、私の大きな財産になりました。

認定絵本土、認定ベビーシッター、おもちゃインストラクター、ピアヘルパー（准子育て支援教育カウンセラー）など、多くの資格を取得できることも敬愛短期大学の魅力です。保育士として歩いていく上での自信に繋がると思います。

学びがつながる実感（インターナショナルスクール就職）

敬愛短期大学に入学してから学生の皆さんにいろいろな刺激を受けながらさまざまなことを学ぶことができました。なかでも、実際に幼稚園や保育所・施設で勤務されていた先生方の授業は毎回興味深かったです。特に実習へ行った際、点と点であったそれまでの授業内容が線になっていったことを今でも鮮明に覚えています。



私は、本学に入学前に在学していた大学で英語を専攻していたこともあり、英語を通じて子どもたちの世界を広げるお手伝いがしたいと思い、就職先はインターナショナルスクールと決めておりました。本学で学んだことを活かしながら、一人でも多くの子どもたちが世界に羽ばたけるよう関わっていきたいと思います。

未経験からの挑戦と、安心して学べる環境（認定こども園就職）



私がこの事業に応募したのは、保育に関連した仕事で働くなかで自分の知識の少なさを感じ、学校でしっかり学びたいと思ったことがきっかけでした。学校は2年間通える環境であることを大切にして選択しました。アクセス、オープンキャンパスでの雰囲気、これまでも訓練生が在籍・卒業しているという安心感が、敬愛短期大学を選んだポイントです。一般学生だけでなく訓練生の仲間がいたことは実際とても心強かったです。

学生生活では特にピアノが印象に残っています。私は初心者で楽譜を読むこともできず不安でしたが、先生方は一人ひとりに合わせて丁寧に教えてくださるので、今では弾き歌いもできるようになり弾くことが楽しいです。これからまた子どもたちと過ごせることが楽しみです。

修了生の声

子どもの思いに寄り添う大切さを学んだ2年間（放課後等デイサービス就職）



幼児期の発達について深く学びたいという思いから始まった短大生活でしたが、先生方や仲間にも恵まれ、温かい環境の中で充実した日々を過ごすことができました。実習では、現場だからこそ得られる気づきや学びに触れ、子どもの思いに寄り添うことの大切さを実感しました。

また、一人ひとりの発達や特性に応じた関わりの重要性を学び、支援を必要とする子どもに対しても、その子に合った適切な療育を行う力を身につけていきたいと感じています。この2年間で培った思いやりの心を土台に、今後も経験を重ねながら成長していきたいと思っています。

何歳からでも挑戦できる、学び直しの一步（児童発達支援施設就職）

元々児童発達支援の現場で働きたいという希望があり、保育士の資格を取ろうと思いました。ピアノも未経験で最初は楽譜すら読めませんでしたが、今では両手で弾けるようになりました。

何歳になっても、チャレンジすることでさまざまな人と出会い成長できると私は思います。迷ったらとりあえずやってみる。一步前に踏み出してみると、視野が開けます。たとえダメでも、また違う道があると思えば、何にでもチャレンジできるのではないのでしょうか。



資格取得が広げた、保育の可能性と自信（病児保育施設就職）



短大の強みは保育に役立つ多くの資格を取得できることです。私は認定絵本士、認定ベビーシッター、おもちゃインストラクター、MOS Expertを取得しました。特に、認定絵本士と認定ベビーシッターの養成校は千葉県内でも数少なく、就活では自分のアピール要素にもなりました。保育知識・技術の学びの裏付けとして、在学中に幅広く資格を取ることをお勧めします。それが、保育士資格を生かした職業選択の幅を広げ、就活を有利に進められること、そして保育士としての自信にも必ず繋がっていくと思います。

修了生の声

訓練生から公務員へ。目標に向けた挑戦（公立保育所就職）



私は、訓練生ですが受験資格がありましたので、公務員試験を受験し合格することができました。進路決定が遅かったため、合格できるか不安でしたが、過去問を解くことはもちろん、学校の対策講座を積極的に受講し、短期間で自分に何ができるのかを考えて行動しました。なかでも面接では自分が「〇〇市で公務員になりたい！」という気持ちをどれだけ真剣に伝えることができるかが1番大切だと感じました。訓練生への応募を考えている皆さんも、素直な自分の強い思いを言葉にし、合格に向けて最後まで諦めず精一杯頑張ってください。

家庭と両立しながら広げた、自分らしい働き方（公立保育所就職）

在学中に子どもが小学校に入学したこともあり、しばらくは、子どもを送り出してから出勤でき土日も休める家庭優先の働き方をしたいと考えようになりました。本学では、認定絵本土やベビーシッター、ピアヘルパー（准子育て支援教育カウンセラー）、おもちゃインストラクターなど多くの資格も取得でき、自分の保育の引き出しが増やせたので自分の自信と可能性を広げるきっかけができたと思っています。特に、「認定絵本土」資格を取得することで、さまざまな角度から絵本を読み取ることができるようになり、視野が広がりました。選書や読み聞かせ方、子どもの絵本への惹きつけ方など保育の実践に役立つ多くの学びがあり、卒業後もさらにご教示いただきながら「絵本専門士」資格の取得にも挑戦したいと思っています。



学びと出会いが人生を豊かにしてくれた（放課後デイサービス就職）



私が「保育士」の取得を目指したのは、『AIに出来ない、一生の仕事』として『手に職を！』と思ったのがきっかけです。知人が同じ制度利用して保育士として活躍していたことも後押しになりました。実際に通学し、実習を経験する中で、「保育園だけが就職先じゃないんだ」ということに気がつき、世界が一気に広がりました。現在は放課後等デイサービスで勤務しており、毎日楽しく過ごしています。学生生活で普段は友達になれないような年齢の子達との繋がりもありがたいことにでき、私生活でも仲良くさせてもらっています。職の幅を広げるだけでなく、人生に彩りを添えてくれた学生生活です。全力で学び、全力で楽しむことで、豊かな人生が手にできると思いますよ！ぜひ、キャンパスライフを楽しんでくださいね。

修了生の声



保育士になるための学びは、自分と向き合うところから始まりました。自分の弱味と強味を確認しながら、短大で多角的に学べた2年間はとても濃い充実した日々でした。

保育に関する基本的、専門的知識や技能だけでなく、実践的な授業も学ぶことができました。保育実習のサポートも親身にしてくださり、安心して取り組むことができました。



様々なキャリアをお持ちの先生方からは、実践的な授業で多くのことを学べました。短大は保育に留まらず教養についても学べ、より安心感を持って社会復帰できる点が魅力です。

私はピアノ初心者でしたので、音楽の授業に不安を持っていましたが、この2年間で基礎から幼児音楽の弾き歌いまで、先生方の温かく丁寧な指導と地道な練習の甲斐あって、今では拙いながらも楽しく弾くことができるようになりました。



年齢を超えた仲間とともに同じ目的意識をもって学びを深められたことがモチベーションに繋がりました。自然に囲まれた済んだ空気の中で実りある貴重な時間を過ごすことができ、一生の思い出になったと思います。

幼い頃からの夢だった、保育士になりたいという漠然とした思いについて、先生方の授業を通して、自分はどのような保育者になりたいのか？真剣に考えることができました。日々学びの連続でとても充実した、あっという間に過ぎた2年間でした。敬愛短期大学での2年間は、私の今後の人生に大きく影響するであろうと実感できる、学びの濃い大変貴重な時間となりました。

